

和食・麺処
SAGAMI
 Il numero 1 dei ristoranti di
 NOODLES GIAPPONESE

ご来店お待ちしております!
 Vi aspettiamo a
 Milano
 Modena
 Parma
 Reggio Emilia
 B. Lombardo
 Verona
 Bologna
 Madrid **MORE** **MORE!!**

www.sagami.it



5月24日・25日 il 24 e il 25 maggio
 サンマリノ市内で
 日本とサンマリノ
 国際交流イベントの
 お祭りが開催されます!
 Ci vediamo a San Marino!

SANMARINO MATSURI 2025

SANMARINO MATSURI 2025 Instagram Web

SAPORI CHE SCALDANO IL CUORE

TEMPURATECA

心温まる味をミラノで

おつまみ
 Otsumami

天ぷら
 Tempura

自家製ラーメン
 Ramen artigianale

日本酒
 Sake e alcolici selezionati

Via Piero della Francesca, 59N




隔月刊日本語新聞
 2025年3-4月号

CIAMO!

JOURNAL

No. 54

隔月刊日本語新聞 - PUBBLICAZIONE
 PERIODICA GRATUITA distribuita in Italia
 ANNO 9 - NUMERO 2 - MARZO/APRILE
 2025 | Edito da: Geienneffe Editore S.a.s.
 Testata giornalistica iscritta al Tribunale
 di Milano n° 53 del 23/01/2017

A. Mantegna. Camera Picta - Particolare dell'Oculo del soffitto. Su concessione del Ministero della cultura - Palazzo Ducale di Mantova. Divieto di duplicazione in qualsiasi forma e con qualsiasi mezzo.

春, 新しい試み

Nuove sfide primaverili

わくわくするイタリア新聞

Curiosare il Giappone
 Articoli in italiano da pag. 6

CIAO! JOURNAL
www.ciaojournal.com
ciao@ciaojournal.com

Lingua
Corso di giapponese
• per adulti
• per bambini
日本人のためのイタリア語

Traduzioni e interpretariato
Giapponese ↔ Italiano
日本語 ↔ イタリア語

合格

Ciao! Journal 広告掲載料金 Tariffe per pubblicità

広告一回掲載料金 Tariffe Pubblicità per una singola uscita modulo (mm59×59)
€150+IVA (mm59×59)
€90+IVA (mm59×26.5)

1ページ Prima pagina
タイトル上 sopra la testata €380+IVA

2,3,16 ページ Pagina 2,3,16 €200+IVA

上記の料金に広告原稿作成代は含まれません。Non è compresa la tariffa di elaborazione del banner.

チャオジャーナル無料配布先募集
●イタリアの各地域への1回の送料: 30ユーロ
●クーリエサービスにて送付: ご希望部数100部まで
●本誌p.2の無料配布先に御社名記載

詳細のお問い合わせ
Per maggiori informazioni scrivere a
ciao@ciaojournal.com

CIAO! Journal 無料配布先 (一部) Dove trovare CIAO! Journal

Milano Consolato Generale del Giappone a Milano, JETRO, 日本人学校, Brera歯科, Sagami, Poporoya, Shiro, Ristorante Osaka, G81 Bento & mood, Yazawa, Gastronomia Yamamoto, Tenoha, Tenoha Ramen, Emoraya, Tanabata, Alimentari Gaghe, Hair Salon Otto, Hazama, Università degli Studi di Milano, Info Point Milano, JFC Italia, IperCoop Piazza Lodi店内 WARA! SUSHI, Sagami Milano Corte Lombarda 店, Ristorante Matanè, Kappou Ninomiya, Tempurateca

Roma Ambasciata del Giappone, Istituto Giapponese di Cultura, 日本人学校, Zensushi, Ristorante Mikachan, Ristorante Sushisen

Torino Takoyaki Minamoto, IperCoop Parco Dora店内 WARA! SUSHI

Pinerolo IperCoop Pinerolo店内 WARA! SUSHI

Genova Coop Corso Europa店内 WARA! SUSHI

Bologna Sagami

Verona Sagami

Modena Sagami

Parma Sagami

Reggio Emilia Sagami, Ramen Hideo

Arezzo Coop.Fi Centro Arezzo店内 WARA! SUSHI

Figline Valdarno Unicoop Firenze店内 WARA! SUSHI

Bari IperCoop Bari Japigia店内 WARA! SUSHI

Lecce IperCoop Lecce店内 WARA! SUSHI

Tokyo Istituto Italiano di Cultura Tokyo, サルトリア・イブシロン, クラウンデスティーン41

Kobe 神戸日伊協会

政界アラカルト

トランプ大統領就任で世界に激震

2025年1月20日、ドナルド・トランプ氏が米国大統領に就任した。「米国を再び偉大な国にする目的で神は私の命を救った」「国民の多くは私が返り咲くとは思わなかったようだが、米国史上最大の苦難を乗り越え戻ってきた」と彼は語った。



大統領2期目の就任初日に大統領令に署名し、報道陣の質問に答えるドナルド・トランプ (2025年1月20日、大統領執務室にて) /Donald Trump firma gli ordini esecutivi e risponde alle domande della stampa il primo giorno del suo secondo mandato, il 20 gennaio 2025, nello Studio Ovale ©The Trump White House

ホワイトハウスで第47代大統領就任を宣誓した直後からトランプ氏は、歓喜する2万人の支持者の目の前で大統領令に次々とサインし、掲げてきた公約を実行に移している姿を見せた。しかしその内容が明らかになるにつれ、世界各国は驚愕し、それぞれが自国の将来を憂慮することになったのである。

彼が署名した大統領令は初日だけで100を超えた。世界保健機関 (WHO) 並びにパリ協定 (気候変動問題に関する国際的な枠組み) からの離脱、バイデン前政権の78の大統領令の撤回 (死刑の再導入、性的マイノリティの権利を擁護する政策一掃、昨年末に亡くなったカーター元大統領への弔意を示す半旗取り消しなど)、他にも「メキシコ湾」を「アメリカ湾」に名称変更、「カナダは合衆国51番目の州」などといった隣国侵攻的な命令までが含まれていた。

貿易面では、輸入品に25%の過重な関税を課す方針を明らかにした。当初から名が挙がっていたメキシコやカナダのみならず、中国、EU、日本といった米国が貿易赤字を被っている全ての国が対象となった。エネルギー面では、環境保護目的で電動自動車導入を促進したバイデン政権の政策を覆し、アラスカの石油・ガス採掘を再開することにした。

Make America Great Again (MAGA) のスローガンのもと、自国の利益を最優先とする政策は、貿易面と保安面で米国と深い関係を保ってきた諸外国にショックを与えた。一体何が起きているのか、可能な範囲で見していきたい。

ビッグ・テックの政治介入

大統領就任式には、アマゾン、アップ

ル、マイクロソフト、グーグルなど所謂「ビッグ・テック」トップの面々が顔を連ねた。当初は彼らが「政治権力にひれ伏した」と伝えられたが、実際は「政治権力として登用された」と言う方が正しいだろう。政治中枢に入り込み、行政システムの技術革新をするらしい。又、もはやトランプ氏の傍らが指定席となったイーロン・マスク氏は、

新たに設立された政府効率化省 (DOGE) の責任者に任命され、「米国行政のコスト削減・高性能化」の使命を担った。

2021年米国議会襲撃犯の解放

トランプ大統領は、前回の大統領選挙時 (2021年1月) に起こった米国議会議事堂襲撃事件に参加して有罪となった受刑者1500人余りに、公約通り恩赦を与えて解放した。その中には、懲役20年もの判決を受けていたプラウド・ボーイズ (ネオファシズム思想の右翼団体) のリーダーや、オース・キーパーズ (極右武装グループ) 創設者などが含まれていた。

移民政策

大統領に就任するや否や、不法移民を重い鎖に繋いでジェット機で送還する写真を公開した。又、非人道的処遇でこれまで閉鎖が試みられてきたグアンタナモ

ホームページをリニューアルしました。見に来てね!
Il nuovo sito è online! www.ciaojournal.com



© Beatrice Mazzola

Indice 目次

- p.2 トランプ大統領就任で世界に激震
- p.4 かけあしイタリアのニュース
- p.6 空間表現の魔術師 アンドレア・マンテーニャ
- p.6 Andrea Mantegna, mago della rappresentazione spaziale
- p.10 サンマリノ共和国のサンマリノ神社
- p.10 San Marino Jinja: un santuario shintoista nella Repubblica di San Marino
- p.13 読者からの手紙/lettera dai lettori
- p.14 初めてのコンフェッティ探し
- p.14 Alla ricerca dei primi confetti
- p.15 Ciao!Journal in piazza
- 掲示板/annunci



Ciao! Journal Pubblicazione Periodica

Registrazione
Tribunale di Milano n°53 del 23/01/2017
Direttore Editoriale Junko Kataoka
Direttore Responsabile Eugenio Bersani
Editing e pubblicità Geienneffe Editore S.a.s.
C.F. e Partita IVA: 09698530962
C.C.I.A.A. di Milano REA n°: MI-2108642
Mail: ciao@ciaojournal.com
Web: www.ciaojournal.com

Redazione: Junko Kataoka, Natsu Funabashi, Isato Prugger
Progetto grafico: Gabriel Suzuki Studio
Revisione in italiano: Fulvio Cattaneo, Camilla Troisi

Traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio, Camilla Troisi, Christian Lelli
Hanno collaborato a questo numero: Saya Hiroasaki, Natsumi Kan, Tetsuro Shimizu, Noriko Hiroasaki, Masao Yamanashi, Anna Zambrini, Tasuku Kosaka, Beatrice Mazzola

Foto in copertina: A. Mantegna. Camera Picta - Particolare dell'Oculo del soffitto, pittura murale. Su concessione del Ministero della cultura - Palazzo Ducale di Mantova. Divieto di duplicazione in qualsiasi forma e con qualsiasi mezzo.

Illustrazione: Saya Hiroasaki
Tipografia: Gruppo Stampa GB s.r.l.
Viale Edison, 627 - 20099 Sesto san Giovanni (MI)
Finito di stampare nel mese di marzo 2025
Riproduzione riservata ©Geienneffe Editore S.a.s.

収容所に不法移民3万人を監禁する命令も出した。更に、これまで1日1450人の枠で受け入れて来た合法的移民の入国を全面的に停止した。このように、今後は如何なる手段を用いても移民を排斥する意図を示したのである。

また、犯罪の温床との理由で、150年来続く「Iussoli」(米国籍を持たない両親でも米国で生まれた子供に国籍を自動的に付与するシステム)を停止した。米国22州の司法長官は、出世地主義市民権剥奪に対し「トランプ大統領は専制君主ではないから憲法を一挙に変更する権限は持たない」と異議申し立てを提出。大統領の独断的行為を「合衆国憲法への攻撃」と見なす国民も少なくなく、おびたしい数の訴えが裁判所に届きつつある。

2月5日、米国は国連人権理事会から再度離脱した (第1次トランプ政権時に離脱したが、バイデン政権で復帰していた)。

トランプ関税

カナダとメキシコからの輸入品に25%、中国に対しては10%の追加関税をかけるとの発表を受け、アメリカが輸入する石油の63%を供給するカナダとメキシコは報復措置として原油価格を上げている。また米国の保護貿易政策の主要な対象国である中国は、販路の多様化を図っているために、米国の増税対策の影響を受けにくいと見なされている。

この「トランプ関税」は基本的には全ての国に損失を齎すことになるが、米国にとってブーメランになるリスクも否めない。米国内で販売される輸入品に反映されるため、原材料コストの上昇、インフレ、経済成長の縮小という形で戻ってくるのが予想されるからだ。また、米

国のエネルギー政策を更に複雑化する可能性もある。

ガザ

「ガザ地区を再建して中東のリビエラに変えるために米国が支配し、長期的に所有する」ことを彼が提案したとき、ホワイトハウスに招待されていた150人の記者達は仰天した。「世界中の人々が住める、国際的な素晴らしい場所に変えることができると思う」「パレスチナ人がガザに戻ろうとする理由はただ一つ。彼らには他に選択肢がないからだ」「彼らができることならガザを去りたいと思っているから、180万人全員が良い生活を送れる場所に移住するべき。ヨルダンとエジプトはパレスチナ人の移住を受け入れると思う」と述べる米大統領の横で、イスラエルの首相は笑みを浮かべていた。

ウクライナを見捨てた米国

トランプ大統領はゼレンスキー大統領を「選挙で選ばれていない独裁者」「決して勝てない戦争のために米国から数千億ドルを得ることに成功した平凡なコメディアン」呼ばわりし、米国とウクライナの間の緊張が高まった。ゼレンスキー氏の「トランプはロシアの偽情報の空間に住んでいる」との批判への仕返しだった。ラブロフ・ロシア外相によると、プーチン氏は「両国の衝突とトランプ」を称賛し、ゼレンスキーを「哀れな人物」と見なしているという。尚、ゼレンスキー大統領は2月28日、ウクライナのレアアースに関する協定 (ウクライナがレアアースを提供する代わりに米国は平和を保障する) 締結のためワシントンに赴いた。

(p.4につづく)

ミラノのWEB制作会社
WEB agency a milano

SHIBUMI
AGENCY

WEBデザイン・デジタルマーケティング・SNSマーケティング・グラフィックデザイン
WEB DESIGN - DIGITAL MARKETING
SOCIAL - GRAPHIC DESIGN

お客様のリクエストにじっくり対応。日本語も承っております。まずは話し合いにいらしゃいませんか?
+39 351 8228088 | info@shibumi.agency

RISTORANTE GIAPPONESE 創業1977年 老舗日本料理店

SHIRO POPOROYA

こだわりの食材
本物の技術
くつろぎの空間
お客様からの信頼

open: 12:30 - 14:30 / 19:30 - 22:30 (last order)
休業日: 水曜日の昼と日曜日
Closed: Wednesday lunch & Sunday
via Eustachi, 20 Milano 02 83972091

かけあし
イタリアのニュース

2024年12月

●16日、独ショルツ首相に不信任。
●18日、アサド政権崩壊後のシリアで10万人が葬られた墓穴発見（14か所目）。イゼオ湖山岳地帯の585mの洞穴に落ちた探検家ピアナ氏が75時間後に救出。日本が身柄引渡しを求めている反捕鯨活動家ワトソン氏をデンマーク政府が保釈。
●19日、英国の聖職者が小学5年生に「クリスマスに来るのはイエス様だけ。皆さんは大きいからサンタクロースがいないことは知っているはず」と言い大抗議、前言撤回。
●20日、仏で妻に睡眠薬を飲ませ50人以上の男に強姦させたビデオをサイトに掲載し続けていた男に懲役20年。
●21日、独マグデブルクでアラブ人医師が車で屋外マーケットに突っ込み死者5人、負傷200人。2019年に難民救助船拒否で告訴されたサルヴィーニに無罪。
●23日、教皇がイスラエル批判「ガザで子供が機関銃の標的に」。パレルモの救急病院で8日間廊下に放置された76歳女性死亡。
●24日、聖年開幕。コリエーレ紙「ウクライナ戦争に送られ死亡した北朝鮮兵3000人」。
●27日、記者チェチリア・サラがテヘ

ランで理由なく投獄される。●28日、ミラノで新年から屋外でも禁煙。●29日、マルペンサとリナーテのサイトが親ロシアハッカーの標的に。露の自然ガス専売会社ガスプロムが1月からモルダヴィアへの供給停止。
●30日、チェチリア・サラの件で当局が人質交換要求。カーター元米大統領死去（100）。韓国で旅客機が着陸後停止できず壁に衝突、炎上。死者179人。

2025年1月

●2日、ニューオーリンズで軽トラックが群衆に突っ込み死者15人、負傷30人。ウクライナが露からのガス供給契約更新せず欧州へのガス供給ストップで伊のガス価格2.5%上昇。リミニでエジプトの男が通行人5人を刃物で襲いカラビニエーリが射殺。コリエーレ紙「年明け花火で309人負傷」。
●3日、独で再生可能エネルギーの発電量が初めて消費量上回る。バリーで保育器の警報機作動せず新生児死亡。7月に倒壊事故があったナポリの巨大住宅ビルの居住者2000人の立退き完了。
●4日、ベルガモのスーパーで警備員刺殺。リミニでエジプトの男が通行人4人を刺し警官が射殺。コリエーレ紙「今年のユダヤ人ヘイトメッセージは26万8000で前年の4倍」。
●5日、メローニ首相がトランプ次期大統領を電撃訪問。
●6日、カラブリ

アの寒村で急患窓口閉鎖、村長が「病気になるのを禁止令」発令。
●8日、マフィアに対抗し94年教会で射殺されたナポリの神父に関し「マフィアの一味。娼婦通っていた」と虚偽の記事を書いたCorriere di Caserta紙に有罪判決。コリエーレ紙「昨年の失業率5.7%で史上最低」。
●9日、チェチリア・サラ解放、帰国。パレルモで15歳娘が母の遺産を巡り父親親喝、父親自殺。ミラノで警察に追われたアラブ系青年がスクーターで壁に激突死した件で、警察側が故意に激突させた疑惑。
●10日、イーロン・マスクとメローニ首相急接近。ロスの山火事収まらず。
●12日、ミラノ中央駅で電気回線故障、全国で電車8時間遅れ。
●13日、チェチリア・サラ拘束3日前にマルペンサで逮捕されたイラン人技術者アベディニが米の要請で釈放・帰国。ピエモンテ、雪崩で3人死亡。
●14日、社会問題を独自の視点で捉えた写真家オリヴィエーロ・トスカニニ死去（82）。2025年ジーロ・ディタリアの出発地ドゥラス（アルバニア）、到着地ローマと発表。
●15日、停戦・段階的人質交換にイスラエル、パレスチナ合意。2か月前ナポリの中学で生徒の親族から暴力を受けた担任が、実は生徒を性的虐待していた。
●16日、コリエーレ紙「ガザの死者4万6707人、子供1万7492人」。全国で鉄

道の遅延・混乱が常習化。
●17日、独語を母語とする人が多いプレッサノーネ（トレント）の高校卒業パーティーで、部外者のグループが伊語で話していた学生に暴力。ボローニャ、時速30キロ制限で事故半減。
●18日、ポンペイ遺跡の私邸で広大なスパ施設と宴会場発掘。
●19日、ハマス・イスラエル戦争停戦開始。
●20日、チェゼーナの高校生が学校の管理サイトに侵入して点数を変更、海上交通制御サイトに侵入してタンカーの航路を変更していた。
●20日、第47代米大統領就任式でイーロン・マスクがナチス式敬礼。EUから唯一メローニ首相参列。
●23日、独バイエルン州の幼稚園でアフガン人テロリストが園児含む5名殺傷。
●24日、リビアを経由する難民に拷問・強姦を実行していたリビアの司法警察長官アルマスリが19日トリノで逮捕されたが伊政府がリビアに帰す。
●25日、トランプ大統領が不法移民を鎖に繋ぎ強制送還する写真をXに公開し「約束は守る」。
●26日、司法年度開始式典でノルディオ法務相の演説中、抗議目的で裁判官多数退席。
●27日、ランペドゥーサ沖で救助された難民49人がアルバニアの収容所へ。
●28日、ガザに避難民20万帰郷。アウシュヴィッツ解放80年追悼式典にマッタレッタ、マクロン、チャールズ英国王参列。ミラノに建設予定

の欧州情報・文化図書館に関し著名な建築家3名に入札妨害疑惑で逮捕状。
●29日、アルマスリ釈放の件でメローニ首相、ピアンテドーシ内相、ノルディオ法務相に幫助疑惑。
●30日、トスカニニのマリーナ・ディ・マッサ港で中国の貨物船が横転しガソリン100トン流出。

2月

●2日、フェッラーラ大学で学生が試験の回答をChatGPTにて作成していた事実発覚、試験無効。
●3日、トランプ大統領の輸入品高関税政策に対象国カナダ、メキシコ、中国の対米課税競争勃発。ネタニヤフ首相がトランプ大統領訪問。
●4日、トランプ大統領の息子がヴェネト州のラグーンで保護鳥を何十羽も撃ち落としSNSで自慢。スウェーデンの大学で男が発砲、死者10人。
●7日、アルマスリのリビア帰還の件で伊政府が国際司法裁判所と衝突。トランプ大統領「イスラエルがガザを米国に引き渡してくれる。そして素晴らしいリゾート海岸に変身する」。
●11日、プレシャの産婦人科で新生児が誕生直後に死亡、出産に携わった医師自殺。
●12日、パリの人工知能AIアクションサミットに米英参加せず。トスカニナ州が薬物による自殺補助法を伊で初めて可決。
●13日、トランプとプーチンが電話会談。
●14日、

ミュンヘンで労組デモにアフガン人テロリストの車が突入し30人負傷。フィレンツェの老人ホームで食中毒、3名死亡。
●15日、ウクライナ侵攻のロシアをドイツ第3帝国に喩えたマッタレッタ大統領をロシアが批判。教皇が気管支炎悪化で入院。

Natsumi Kan

最高級品種の日本種米
安心安全の減農薬栽培米
さめてもおいしいお米

ポポロ屋はイタリアにおける販売代理店です。
Poporoja è distributore esclusivo per l'Italia

Via Eustachi 17 Milano
☎ 02-29406797
info@poporoyasrl.it

Lunedì 17:30-21:30
Da martedì a sabato 9:30-14:00 | 17:30-21:30

GLOVOのサイトでもご注文頂けます。
POPOROYA MARKETでご検索下さい。
"POPOROYA MARKET" è disponibile anche su GLOVO.

最高級品種 日本種米です。
安心安全の減農薬栽培米です。
冷めてもおいしいお米です。

RISO GIAPPONESE QUALITÀ SUPERIOR DA CHICCO GIAPPONESE. COLTIVAZIONE BIO. BUONO ANCHE QUANDO SI RAFFREDDA.

www.oapsa.com OKURA Y ASOCIADOS PRODUCTS, S.A.

ホワイトハウスで世界中継にて行われた会談は、トランプ側のゼレンスキー大統領への屈辱的な対応に終始し、20分で決裂した。これにより、アメリカ側はウクライナに降伏を強要するだけで、支援の意思が全く無いことが明らかになった。

イーロン・マスクの米国行政システム改革とEU諸国内政干渉

さて、米国の政府効率化省を司るイーロン・マスクは、業務効率化の一環でUsAid（米国国際開発庁=途上国120カ国を支援する省庁）の職員2000人を解雇し、政府関連サイト1400のうち350を閉鎖した。彼は「とにかく節約する」目的で行政システムを改革するにあたり、自らが開催した夏期研修に参加した若者など19~24歳のITエンジニアを起用。行政に関する知識皆無の彼らが国の極秘データにアクセスする権限を持つと言う。国の中枢

の人事から経理に至るまで、どんな若者がどう動いているかの公的情報が無いため、その合法性が問題視されている。

同氏は数年前から欧州諸国の政治にも干渉している。具体的に見てみるとウクライナ：2年前、ロシアの侵略を受けるウクライナに奉仕するために「スターリンク衛星通信システム」を敷き、一躍西側のヒーローとなった。しかしプーチンとの秘密会談（ウォール・ストリート・ジャーナルが暴露）の後、突如態度を翻し、トランプの大々的な支持者に転じた。
独：2月23日の総選挙を前にしたドイツで、社会民主党党首ショルツ首相をバカ呼ばわりし、「ドイツを救うことができるのはAfD（ネオナチ系極右政党）だけだ」とXに投稿した。

仏：2024年8月、フランス系ロシア人パーヴェル・ドゥーロフがフランスに入国したところを逮捕された。理由は彼が創設

した通信アプリのテレグラム社が麻薬密売、テロ、児童ポルノ、マネーロンダリング、恐喝などの違法行為の温床となっていたためだ。だがマスク氏は彼を逮捕した仏政府を批判する側に回った。

伊：移民船オープンアームズ号の上陸を拒否したサルヴィーニの裁判で彼の側に立ち、その無罪判決を祝福。

英：右派で欧州連盟反対派のナイジェル・ファラージ（トランプの長年の友人）を支持。

EU：フォンデアライエン氏の欧州委員長再任が決定した時、「問題解決はEU市民の直接投票によるべきであり、委員会にその権限を譲るべきではない」と発言。

イタリアとトランプ

メローニ首相はEUの中で大統領就任式にただひとり参加した。「我が国はブリュッセルとホワイトハウスの架け橋にな

ることを望んでいる」「従来アメリカとイタリアは強い絆で結ばれている。両国の関係を強化・継続したいという意思を示すことは非常に重要だ」と参加理由を説明している。

一方、ジェンティローニEU経済担当委員は、「EU代表として米国と交渉すべきはメローニではなくフォンデアライエン委員長であるべき。EUの対米貿易黒字は2100億ユーロであり、イタリアはそのうちの一部（20%）を占めるのみ。米国にとってEUは貿易大国であり、交渉すべき相手がイタリア一国でないことは明白だ」と述べ、加盟国が国別にそれぞれ交渉しても意味を為さないと説明した。

全てはアメリカの手中に

「自由の女神」像が示すように、米国はこれまで正義と自由の象徴だと見なされてきた。しかし新大統領はそれを見事に

覆した。弱者との共存など存在しない。肝心なのは人間を支配できる財力・権力・武力に他ならない。世界有数の核保有国アメリカこそ支配者に相応しいのだと。

一方、ネット無しで生きることが不可能になった我々は、グーグル、アマゾン、フェイスブック、マイクロソフト、アップル達のサービスを受ける代わりに自身のデータを彼らに譲り渡してしまったことに、遅ればせながら気付くのである。ID、所在地、いつどこに行って何をしたかまで、全ての情報はビッグ・テックの手中、すなわちトランプ氏の手中にあるわけだ。

突如として従来の価値観と拠り所から弾き飛ばされた我々は、これからどの方向に進んでいくのだろうか。（2024年2月28日現在）

Masao Yamanashi
(参照：Corriere della Sera紙)

GAGHE
korean & japanese food shop

Via Piacenza, 24 - 20135 Milano
Tel. 02 84076284
M3 Porta Romana

「清水画伯が語る」シリーズ 第4弾

空間表現の魔術師
アンドレア・マンテーニャ



Tetsuro Shimizu,
docente dell'Accademia
delle Belle Arti di Brera

現代美術の世界では今、「サイト・スペシフィック」が流行っています。「ある特定の場所（サイト）に合わせて作品制作すること」を言い、その空間の歴史的・文化的な特性を生かして美術作品を作るのです。

1993年、ドイツのハンス・ハーケがヴェネツィア・ビエンナーレのドイツ館に展示した『ゲルマニア』が、金獅子賞を獲得しました。まず入り口に、50年前にヒトラーがここを訪問したときの写真が貼られ、中に入ると大理石の床が全部掘り起こされて瓦礫になっている。ヒトラー時代に作られた建物の内部を瓦礫にして見せるというのが、展示作品だったのです。この『ゲルマニア』がサイト・スペシフィックの走りとなり、また代表作とされています。それ以後、ビエンナーレではどの国もサイト・スペシフィックをやるようになってしまいました（笑）。

前置きが長くなりましたが、今回は、ルネサンス前期パドヴァ派の代表とされるアンドレア・マンテーニャ（1431-1506）の話したいと思います。私はマンテーニャのことを「空間表現の魔術師」と呼ぶ



① Andrea Mantegna "Martirio e trasporto del corpo decapitato di san Cristoforo" 1447-1456, Chiesa degli Eremitani, Padova

Vol 4 L'arte raccontata dal pittore Shimizu

Andrea Mantegna,
mago della rappresentazione spaziale

“Site-specific”: un concetto attualmente in voga nel mondo dell’arte contemporanea. Il termine fa riferimento alla creazione di opere d’arte realizzate “su misura per un determinato luogo (site)”, sfruttandone al contempo le peculiarità culturali e storiche.

Nel 1993, l’opera “Germania” di Hans Haacke venne esposta nel Padiglione tedesco della Biennale di Venezia, vincendo il Leone d’Oro. All’ingresso, era stata appesa una foto, risalente a 50 anni prima, di una visita che Hitler fece proprio lì. La prima cosa che catturava l’attenzione era l’intero pavimento di marmo staccato dal terreno e ridotto in macerie. L’opera all’interno della mostra aveva l’obiettivo di mostrare in macerie l’interno di un edificio costruito durante la dittatura di Hitler. “Germania” è diventata l’opera trainante alla base del concetto di “site-specific” e ne è considerata uno dei lavori più rappresentativi. A partire da quel momento, ogni Paese ha iniziato a realizzare opere site-specific da esporre alla Biennale.

Dopo questa lunga premessa, è giunto il momento di passare ad Andrea Mantegna (1431-1506), considerato uno dei principali artisti del Rinascimento a Padova. Mantegna, è da me definito “il mago della rappresentazione spaziale” e considerato il pioniere delle raffigurazioni “site-specific”. La famosa “Camera degli Sposi” (1465-1474) è proprio il primo esempio in assoluto.

ています。そして、彼こそがサイト・スペシフィックの先駆者だと考えています。あの有名な『Camera degli Sposi』（夫婦の間。1465～74）が、その走りだと。

度肝を抜くマンテーニャの力量

マンテーニャの親方スクアルチオーネは、自身の作品はあまり残していませんが、パドヴァの彼の工房では多くの有能な画家（コスメ・トゥーラやカルロ・クリヴェッリなど）を育てています。フィレンツェの同時代のポッティチェッリなどと比べると、あまり美化せず、悲惨なテーマをリアルな画風で描くのが特徴の工房でした。

マンテーニャは16歳で既に、パドヴァのエレミターニ教会オヴェターリ礼拝堂に壁画を描き始めています（①）。戦争でほとんど破壊されていますが、これを見ただけで彼の力量がわかります。まず、それまで一般的だったジョットの「アイソメ図法」（assonometria=斜め上から見下ろしているかのような表現）ではなく、鑑賞者の目の位置で消失点（平行な線が遠くに行くほど近づいていくように見え、遂には交差してしまう点）を作っています。いわゆる「遠近法」ですが、ブルネレスキらが発明し、マサッチョやドナテッロが実践した理論を、少年のマンテーニャが使ってみせたのです。

次に、マンテーニャ25歳の時に作り始めたヴェローナの『サン・ゼーノの祭壇画』を見てください（②）。由緒ある教会の後陣にぴったり合うように何から何まで全て彼が作ったもので、遠近法以外にも新しい試みをしています。実際に作った木の柱が絵とうまく繋がって

La capacità del Mantegna di stupire

Francesco Squarcione, maestro del Mantegna, lasciò poche opere proprie, ma formò nella sua bottega di Padova molti artisti di talento (come Cosmè Tura e Carlo Crivelli). Rispetto ai suoi contemporanei fiorentini, come per esempio Botticelli, la bottega si concentrava sulla produzione di opere meno glorificate e più realistiche, nonché orientate su tematiche a sfondo tragico.

Già all’età di 16 anni, il Mantegna iniziò a dedicarsi agli affreschi all’interno della Cappella Ovetari, nella chiesa degli Eremitani a Padova. L’opera ① fu quasi interamente distrutta dalla guerra, ma basta guardarla per comprendere la bravura del suo autore. Per prima cosa, invece di utilizzare l’assonometria di Giotto, la prassi più comune all’epoca, il Mantegna sfruttò il cosiddetto “punto di fuga” (punto in cui delle linee parallele sembrano convergere, N.d.R.) dal punto di vista dello spettatore. In altre parole, utilizzava la “prospettiva”, teoria inventata da Brunelleschi e altri artisti, implementata da Masaccio e Donatello, e che il giovane Mantegna dimostrò di saper utilizzare.

Proseguiamo con la “Pala di San Zeno” ② a Verona, che Mantegna iniziò a realizzare a 25 anni. Preparò l’opera in modo che si adattasse



② Andrea Mantegna "Pala di San Zeno" 1456-1459, Basilica di San Zeno, Verona

ますね。現実の空間の中にある柱が、絵画の中の空間に溶け込んで一体になっています。

当時の画家は絵だけではなく、彫刻から建築から全て出来なくてはならなかったのですが、マンテーニャは考古学にも精通していたため、ローマ時代の柱を綿密に研究して細部に至るまで忠実に再現しています。尚、祭壇下部のプレデッラの3枚の絵はナポレオンに持って行かれてしまい、今あるのはコピーです。実際の絵はルーブルなどの所蔵品となっていますが、その素晴らしさはこれらのコピーとは比べものになりません。

絵画空間と現実空間を繋ぐ

スクアルチオーネ工房とヴェネツィアのベッリーニ工房は、ライバル関係にありました。マンテーニャは、ベッリーニ工房の親方ヤコポ・ベッリーニの娘であるニコロシア（つまりジョヴァンニ・ベッリーニの妹）と結婚したために、スクアルチオーネに縁を切られます。そしてジョヴァンニの柔らかい表現の影響を受けるようになります。厳しく克明な表現がマンテーニャの特徴ですが、それが強すぎて一般ウケしないところがありました。しかし30歳の頃から優雅さ柔らかさが加わっていき、いよいよ彼の本領発揮です。



③ Andrea Mantegna "Presentazione di Gesù al Tempio" 1465-1466, Gemäldegalerie, Berlin

perfettamente all’abside della venerabile chiesa e si diede a diverse sperimentazioni, oltre alla prospettiva. Le colonne in legno si adattano perfettamente al dipinto, fondendo lo “spazio reale” con lo “spazio del dipinto” e diventando un tutt’uno.

I pittori dell’epoca dovevano essere artisti a tutto tondo, quindi anche scultori e architetti, e non si limitavano solamente a dipingere. Mantegna, che era anche un esperto di archeologia, studiò attentamente le colonne romane e le riprodusse fedelmente, fin nei minimi dettagli. Le tre scene della predella sotto l’altare furono portate via da Napoleone e quelle che vediamo oggi sono solamente una copia. Gli originali appartengono alle collezioni del Louvre e a quelle di altri musei, e il loro splendore è incomparabile rispetto alle copie.

Collegare spazio pittorico e spazio reale

La bottega di Squarcione e quella di Bellini a Venezia erano rivali. Fu a causa del matrimonio con Nicolosia, figlia del capo bottega Jacopo Bellini (e sorella di Giovanni Bellini) che il maestro decise di troncane ogni tipo di rapporto con il suo allievo. Questo lo portò a essere influenzato dalla morbidezza delle rappresentazioni di Giovanni e a scostarsi dal suo stile più rigido ed elaborato, che il pubblico a fatica riusciva ad apprezzare. Ecco così che, a partire dai 30 anni, il suo tocco si fece più raffinato e delicato, mettendo in luce sempre di più le sue vere capacità.

Nell’opera “Presentazione al Tempio”, la moglie di

『神殿奉献』で聖母マリアの左後方にいるのがマンテーニャの奥さんです。自分自身の顔も右端に入れたり、宗教画に於いても架空の顔ではなく実際の人物を使っています。他の人物も知り合いの顔を参考にしているのでしょう（③）。

額縁を描き、そこに肘を置かせていますね。これにより、現実の世界に向かって絵から出てきているような錯覚を起こさせます。マンテーニャは「空間」というものに大変な興味を持っており、絵画空間と鑑賞者の現実空間を繋ごうとしたのです。彼が初めて行ったこの試みを、その後ティツィアーノはじめ色々な画家がするようになります。

これこそはサイト・スペシフィック

今回のメインであるマントヴァの『夫婦の間』の話をしましよう（⑤）。この部屋は正に神秘的空間です。マンテーニャがヴェローナで祭壇画を描いている時に、ゴンザーガ家のルドヴィーコ3世から制作依頼が来しました。

この部屋では全面に壁画が施されており、出入り口と窓、暖炉とカピテッロ（柱の上部にある装飾的な部分）だけが実際の物です。窓は、マンテーニャが自分の思う角度で絵に光を当てたいがために、丁度いい場所に作りかえさせたようです。カピテッロは実際にあったものを利用し、それに繋げて柱を描いています。描かれたカーテンがめくれた外

Mantegna si trova dietro la Vergine Maria, sulla sinistra. Nei suoi dipinti religiosi, piuttosto che ideare volti fittizi, l’artista prendeva a modello individui realmente esistenti (compreso sé stesso, raffigurato all’estrema destra del quadro). Le altre figure presenti sono probabilmente basate su persone che conosceva. In questa opera ③ disegnò una cornice su cui fece poggiare i gomiti dei personaggi, creando così un’illusione: sembra infatti che le figure rappresentate escano dal dipinto per giungere nel mondo reale. Mantegna era molto interessato allo “spazio” e cercava di collegare quello del dipinto alla realtà dell’osservatore. Il suo fu il primo tentativo in questo senso, a cui seguirono quelli di Tiziano e di molti altri pittori.

Ecco cosa vuol dire “site-specific”

Parliamo del tema principale di questo articolo, la “Camera degli Sposi” di Mantova ⑤, a pagina 8). Questa stanza è uno spazio avvolto dal mistero. Il Mantegna, al momento della commissione ricevuta da Ludovico III della famiglia Gonzaga, era intento a dipingere la pala d’altare a Verona.

L’intera stanza è ricoperta da affreschi e solo le porte, le finestre, il camino e i capitelli (la parte decorativa in cima alle colonne, N.d.R.) sono reali. Le finestre sembrano essere state disposte nei punti più adatti per fare in modo che la luce colpisse le scene dipinte dall’angolazione desiderata dal Mantegna. I capitelli erano già presenti, per cui l’artista disegnò delle colonne in modo che risultassero a essi collegate. Le tende dipinte sono sollevate, a rivelare un balcone: scostandole, ci si affaccia sul paesaggio esterno di Bozzolo (un paese vicino a Mantova) e Roma. Sul soffitto sono raffigurati dei lucernari e un cielo azzurro, rendendo l’intera stanza un padiglione (un piccolo

にはバルコニー。カーテンを開けると外の風景はポツツォロ（マントヴァ近郊の町）、そしてローマです。天井には天窓と青い空が描かれ、この部屋全体が一つのパビリオン（貴族の庭などに作られる小さな建物）になっているのです。

よく見てみると、バルコニーに集まっている人たちは皆バラバラな方向を見ていたり、ヒソヒソ話をしていたり。実はこの壁画を描く少し前、ミラノのスフォルツァ家のフランチェスコが倒れ、「瀕死の状態だ。助けてほしい」とゴンザーガ家に言ってきたのです。この場面は丁度その知らせを受けた時の様子。ルドヴィーコー一行がミラノに向かう途中、ポツツォロで彼の次男フランチェスコに出会った様子も描いています。フランチェスコは枢機卿に選ばれ、これからローマに行こうとしているのです。そこで壁画にはローマの風景も描かれているというわけです。

こんな風に、「作品を描く場所」にまつわる現実のストーリーを壁画の中に書き込んでいるんですね。正にサイト・スペシフィックです。マンテーニャはこの部屋を1465年から9年かけて完成させました。これを見たダヴィンチはミラノのスフォルツェスコ城に『アッセの間』（1498）を作り、コレッジョはパルマの大聖堂に『聖母被昇天』（1530）を描きました。



④ A. Mantegna, Oculo della "Camera degli Sposi" (Camera Picta - Soffitto, Oculo, pittura murale. Su concessione del Ministero della cultura - Palazzo Ducale di Mantova. Divieto di duplicazione in qualsiasi forma e con qualsiasi mezzo.)

如何に現実感を持たせるか

綿密に計算された『夫婦の間』ですが、天井の絵は他の部分と違って空想の世界になっており、いつもはリアル追求のマンテーニャの遊び心が感

じられますね(④)。しかし、ここでも天使達の体に「短縮法」（実物より短く見えるように描いてリアル感を出す技法）を使い、やはりリアルさを追求しているのです。もちろん短縮法も彼が生み出したものです。



⑤ A. Mantegna "Camera degli Sposi" 1465-1474 (Camera Picta - pitture murali. Su concessione del Ministero della cultura - Palazzo Ducale di Mantova. Divieto di duplicazione in qualsiasi forma e con qualsiasi mezzo.)

edificio all'interno del giardino di una famiglia aristocratica, N.d.R.). Uno sguardo più attento rivela che le persone riunite sul balcone guardano tutte in direzioni diverse e sussurrano. Infatti, poco prima che questo affresco venisse realizzato, Francesco Sforza di Milano ebbe un collasso e in quel momento invocò l'aiuto della famiglia Gonzaga: "Sto morendo, salvatemi". La scena qui rappresentata è proprio quella del momento in cui viene appresa la notizia, oltre a mostrare anche

Come dare un senso di realtà?

La "Camera degli Sposi" è stata progettata in ogni minimo dettaglio, ma i dipinti sul soffitto (④), a differenza del resto della sala, raffigurano un mondo fantastico e mostrano il lato più giocoso del Mantegna, che di solito persegue il realismo. Realismo che, però, sfrutta lo "scorcio

l'incontro tra Ludovico e il suo secondogenito Francesco a Bozzolo, mentre il primo si stava dirigendo a Milano e il secondo, che era stato eletto cardinale, stava per recarsi a Roma. Ecco perché nell'affresco viene rappresentato anche il paesaggio romano.

In questo modo, nell'affresco viene raffigurata la vera storia del "luogo in cui l'opera è dipinta", rendendolo in tutto e per tutto site-specific. Mantegna ci mise nove anni per completare questa stanza, a partire dal 1465. Dopo averla vista, Leonardo da Vinci realizzò la Sala delle Asse (1498) a Milano, nel Castello Sforzesco, mentre Correggio dipinse l'Assunzione della Vergine (1530) nel Duomo di Parma.

当時ペストが流行っていたため、マンテーニャは『聖セバステアヌス』を何枚も描いています(⑦セバステアヌスは疫病から守ってくれる聖人)。この聖人の物語に如何に現実感を持たせるか。この絵では、古代ローマ時代の遺跡や柱や風景を背景に、手前に2人のローマ兵を置いています。このリアルな2人の導入で、聖人の殉教物語が単なるシンボルに終わらない、ある出来事のように感じられます。つまり、この舞台の中に鑑賞者を誘い込むことに成功しているのです。

美術史上特異な作品

『死せるキリスト』は美術史上特異な作品となっています(⑥)。でも彼は何故このように描こうと思ったのでしょうか。「生きているマリアの顔と死んでいるキリストの顔を一緒にクローズアップしたかったからではないか」と私は考えています。両者の顔を同時に表そうと思えばキリストは半身になってしまう。しかも、死んでいるのに上半身を起こして描かなければならない。マンテーニャはこの問題を解消したかった。死んで横たわるキリストの全身を描きたかったのではないのでしょうか。

この絵は更に、この作品を見る鑑賞者自身が実際にこの場に立ち合っているかのような見せ方をしています。尚、ここで大事なことは、聖骸布をととも丹念に書き込んでいること。だからこそ下半身の実際の長さがちゃんと表現できているのです。下手すればチグハグに見えてしまう可能性もある構図です。

ところで、マグダラのマリアは口だけしか見えませんし、マリアも綺麗に描いてもらえていませんね(笑)。マンテーニャはこの様に現実感を優先する画家であったため、女性は彼に肖像画を描いてもらいたがらなかったそうです。絶世の美女であったマントヴァ侯妃イザベラ・デステも彼に頼むのを嫌がり、美しく理想的に描いてくれるダヴ

インチに頼んだのだとか。

マンテーニャの作品にはどれも、見るものを強く惹きつけて巻き込んでいく力があります。私自身も元を正せば、マンテーニャの空間表現に惹かれてイタリアに来たようなものなのです。皆さんも是非とも、「空間の魔術師」そして「サイト・スペシフィックの先駆者」という観点からマンテーニャの作品をご覧ください。



⑥ A. Mantegna "Cristo morto" 1470-1474, Pinacoteca di Brera, Milano

prospettico" (una tecnica in cui i corpi degli angeli sono dipinti in modo da sembrare più corti di quanto non siano, N.d.R.). Naturalmente, anche questa è una tecnica di sua invenzione.

A causa dell'epidemia di peste di quel periodo, il Mantegna realizzò diverse copie di San Sebastiano (⑦, santo patrono che protegge dalla peste, N.d.R.). Come dare alla storia del santo un senso di realtà? In questo dipinto, due soldati romani sono posti in primo piano su uno sfondo fatto di antiche rovine, colonne e paesaggi dell'antica Roma. L'introduzione delle due figure realistiche fa sì che la storia del martirio del santo venga percepita come un evento e non solo come un simbolo. In altre parole, attira lo spettatore sul palco.



⑦ A. Mantegna "San Sebastiano" 1480, Louvre Museum, Paris

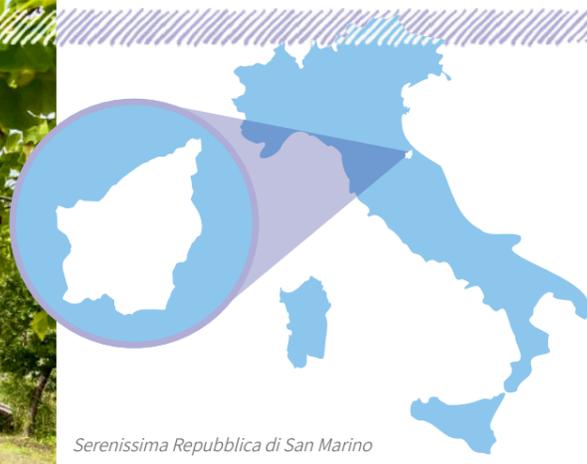
essere legato alla volontà di evidenziare il volto di Maria in vita insieme a quello di Gesù, ormai deceduto. Per poterlo fare, però, avrebbe dovuto ritrarre Gesù a mezzo busto e raffigurarlo con la parte superiore del corpo sollevata, nonostante non fosse più in vita. Il Mantegna voleva risolvere questo problema e ritrarre l'intero corpo di Cristo completamente steso, morto.

Questo particolare dipinto, inoltre, dà allo spettatore la percezione di stare realmente assistendo alla scena. È poi importante notare la cura nella raffigurazione della Sacra Sindone. È per questo che l'effettiva lunghezza della parte inferiore del corpo è rappresentata correttamente. Se fosse stato fatto in maniera errata, probabilmente la composizione sarebbe risultata in qualche modo distorta.

Inoltre, di Maria Maddalena si vede solo la bocca, mentre Maria non è che sia particolarmente bella (ride). Il Mantegna aveva uno stile talmente realistico che le donne non volevano farsi ritrarre da lui. Persino Isabella d'Este, la bellissima marchesa di Mantova, non volle chiedergli un dipinto, e così si rivolse a Leonardo da Vinci, che l'avrebbe raffigurata di una bellezza ideale.

Tutte le opere del Mantegna hanno il potere di attrarre e coinvolgere fortemente lo spettatore. Io stesso sono venuto in Italia attirato proprio dalla rappresentazione dello spazio di Mantegna. Vi invito a guardare le sue opere pensando all'artista come a un "mago dello spazio" e a un "pioniere delle rappresentazioni site-specific".

Servizio di Junko Kataoka (Traduzione in italiano: Camilla Troisi)



Serenissima Repubblica di San Marino

サンマリノ神社の鳥居。鳥居の中は神域で、私たちが暮らす俗界との境目です。／Il torii del San Marino Jinja. Il torii, ovvero il portale d'ingresso dei santuari shintoisti, delimita il confine tra l'area sacra in cui vivono le divinità e il mondo secolare in cui viviamo noi esseri umani.

サンマリノ共和国の サンマリノ神社

イタリア半島に、西暦301年の建国以来1700年間戦争をしたことのない平和な独立国があります。リミニから40分のドライブで着くその国の名は、サンマリノ共和国 (Repubblica di San Marino)。イタリア語での正式名はなんとSerenissima Repubblica di San Marino (Serenissima=最も清らかな) というのだそうです。

バチカン市国と同じように、地理的にはイタリアの中に位置しながら一つの国として独立し、エミリア・ロマーニャ州そしてマルケ州に国境を接しています。同国は1243年以降、半年に1度の執政選挙で2名の国家元首を選ぶようになりましたが、建国以来共和政体を採用してきていることから、世界で最も古い共和国とされています。19世紀のイタリア統一の際にも独立国として残ったのです。

ところで、この国にはなんと日本の神社があるのです。一体なぜサンマリノ共和国に神社があるのでしょうか？今日はそのお話です。

神社とは

そもそも「神社」とは、「神道」の祭祀施設です。そして「神道」とは、日本独自の宗教です。しかし、仏教やキリスト教にあるような経典や聖書はなく、神社に祀(まつ)られる神々についての神話や伝承、そして「まつり」を中核とするものです。「まつり」とは神道における祭祀(さいし)を意味し、いわゆるfestaを意味するお祭りとは意を異にするため、敢えてひらがな表記にしています。

そして、剣の道の「剣道」、茶の道の「茶道」などと同じように、「神の道」と表すのも特徴的ですよね。つまり神道とは「神々と共に生きる道」を伝えるものなのです。それは、日本人が日々の暮らしの中で培ってきた固有の考え方であることから、日本人の哲学とも言えるでしょう。

神道には、「ものの全てには神様が宿っている」という考え方(八百万の神=多種多様の数多くの神という意味)があります。6世紀前半に仏教が伝来したときに日本人がすんなり受け入れたのも、それ故なのかもしれません。長い歴史の中で日本が中国や西洋諸国の文化や考え方を柔軟に取り入れ、独自にアレンジして日本風に発展させてきたこと背景には、神道のそういった考え方があるのではないのでしょうか。

San Marino Jinja

Un santuario shintoista nella Repubblica di San Marino

Nella penisola italiana, c'è un piccolo stato indipendente molto pacifico, che per ben 1700 anni – sin dalla sua fondazione nel 301 d.C. – non è mai entrato in guerra. Si tratta della Repubblica di San Marino, che dista 40 minuti di automobile da Rimini. Il nome ufficiale è “Serenissima Repubblica di San Marino” (dove il termine *serenissima* significa “la più pura”).

Si tratta di un'enclave: pur trovandosi geograficamente all'interno del suolo italiano, rimane un'entità territoriale indipendente (così come lo Stato Vaticano), e confina con l'Emilia Romagna e le Marche.

Dal 1243 San Marino è guidato da due capi di stato, che vengono eletti dalla cittadinanza ogni sei mesi. Il Paese ha adottato una forma di governo repubblicana sin dalla sua fondazione, motivo per cui è considerato la più antica repubblica del mondo. Mantenne la propria indipendenza anche durante l'unificazione d'Italia nel XIX secolo.

A proposito, in questo piccolo stato c'è anche un santuario shintoista giapponese! Ma perché mai un simile edificio si trova nella Repubblica di San Marino? Scopriamolo insieme in questo articolo.

Cos'è un jinja (santuario shintoista)?

Per cominciare, un *jinja* (santuario) è una struttura con un'importante funzione cerimoniale dello shintoismo, una forma religiosa tipica del Giappone e unica al mondo. A differenza del buddismo o del cristianesimo, nello shintoismo non esistono testi sacri: il fulcro sono i miti e il folklore che celebrano le divinità adorate nei santuari, e i cosiddetti *matsuri*. Il termine *matsuri* indica i rituali shintoisti; in questo caso, il termine non ha il significato di “festa”: per questo motivo, in giapponese ho deciso di scriverlo in *hiragana* (alfabeto fonetico) e non in *kanji* (ideogrammi), per differenziarlo dall'omonimo *matsuri* che si riferisce invece alle festività tradizionali.

Inoltre, vorrei soffermarmi un attimo sul significato del termine giapponese *shintō* (shintoismo): così come *kendō* è “la via della spada” e *sadō* (cerimonia del tè) è “la via del tè”, anche lo *shintō*, che letteralmente significa “la via dei *kami* (divinità)”, esprime un concetto peculiare. In altre parole, lo shintoismo indica la “via per vivere insieme

多くの日本人の心の中には、幼いときに神社で遊んだり、七五三を祝ってもらった思い出などがあることでしょうか。また、お正月のお詣り、あるいは何か願い事があるときに訪れたり、日頃意識していなくても神社を大切にしているのではないのでしょうか。しかし「神道が宗教である」という感覚が日本人にはあまり無い故に、大多数の日本人は自身を無宗教だと認識しているようです。

サンマリノ神社

サンマリノ共和国にあるサンマリノ神社の創建に尽力したのは、マンリオ・カデロ駐日サンマリノ共和国特命全権大使です。もともとジャーナリスト、後に外交官として半世紀も日本で生活している同大使は、日本文化の理解を深めていく中で神道に感銘を受けました。そして、東日本大震災で多くの人が犠牲になったことに心を痛め、日本人の心に寄り添いたいとの思いから、自身の母国の地に神社を創建すればどうだろうと考えたのです。カデロ大使は日本の外務省、宮内庁、神社本庁と話し合い、たくさんの人たちの協力を得て、2014年遂に、日本の神様をはるばるサンマリノ共和国に招くことができたのです。



サンマリノ神社本殿／Honden (edificio principale del santuario) del San Marino Jinja.

サンマリノ神社には、日本で最も重要な神様である天照大御神(あまてらすおおみかみ)をお祀りしています。神社本殿の土台はサンマリノで採れる硬い花崗岩で作られました。そして本殿には伊勢神宮の古材(※編註)が使用され、日本でいったん組み立てられた後、解体されてサンマリノまで運ばれてきました。日本から来てくれた宮大工(神社仏閣の建築や補修に携わる大工)がたった3日で作り上げたときの様子は非常に珍しく、イタリアの大学の建築科の学生たちも見学に来たほどです。そして2014年6月22日、日本からも要人を迎えて華やかな完成式典が行われました。

サンマリノまつり

それ以来、毎年サンマリノ市内で「まつり」が行われるようになり、日本との友好を深めてきました。東京の目黒区中町からはお神輿の寄贈もありました。世界中がコロナで閉鎖された後の2023年5月、4年ぶりにやっと行われた「サンマリノまつり」に於いてそのお神輿が初お目見えし、街を練り歩きました。また、昨年2024年にはサンマリノ神社の創建10周年を迎え、盛大な例大祭(その神社にとって最も重要な祭祀)が執り行われました。

ちなみに、神社はイタリア語で「tempio shintoista」あるいは「san-

alle divinità”. Può essere definito una filosofia giapponese, in quanto si tratta di un modo di pensare caratteristico che i giapponesi hanno coltivato nel corso dei secoli nella vita quotidiana.

Secondo lo shintoismo, in tutte le cose del mondo risiede una divinità (in giapponese esiste l'espressione *yaoyorozu no kami*, che indica appunto una moltitudine di dèi diversi). Questo è probabilmente il motivo per cui, quando nella prima metà del VI secolo il buddismo venne introdotto nel Paese, i giapponesi lo accettarono senza resistenze. Nel corso della sua lunga storia, il Giappone ha spesso adottato aspetti culturali e modi di pensare provenienti dalla Cina e dai Paesi occidentali, riadattandoli e sviluppandoli in stile giapponese: credo che, dietro a questo approccio flessibile, ci sia proprio la mentalità shintoista.

Molti giapponesi ricordano sicuramente quando, da piccoli, giocavano vicino ai santuari shintoisti, o di averli celebrato lo *Shichi-Go-San* (lett. “sette-cinque-tre”, festività tradizionale giapponese e rito di passaggio, in cui si festeggia la crescita dei bambini di cinque anni e delle bambine di tre e sette anni, n.d.t.). Inoltre, il santuario shintoista riveste un ruolo rilevante anche nella vita quotidiana dei giapponesi: per esempio, la tradizionale prima visita al tempio di capodanno, o semplicemente la visita al santuario quando si ha un qualche desiderio da esprimere sono dei momenti importanti. Nonostante questo, i giapponesi solitamente non percepiscono lo shintoismo come una vera e propria religione, infatti sembra che la maggior parte della popolazione si consideri agnostica.

San Marino Jinja

Il santuario shintoista che si trova a San Marino è stato costruito per volontà del Prof. Manlio Cadelo, Ambasciatore straordinario e plenipotenziario della Repubblica di San Marino in Giappone. L'Ambasciatore, che vive da ormai mezzo secolo in Giappone – dove è giunto inizialmente come giornalista e poi come diplomatico – è rimasto particolarmente colpito dallo shintoismo durante i suoi studi mirati ad approfondire la comprensione della cultura nipponica. Successivamente, in seguito al profondo dolore provato per le numerose vittime del grande terremoto e maremoto del Giappone del 2011, il suo desiderio di avvicinarsi al cuore del popolo giapponese lo spinse a concepire l'idea di costruire un santuario shintoista nel suo Paese d'origine. Così, dopo essersi consultato con il Ministero degli Affari Esteri giapponese, con l'Agenzia della Casa Imperiale e con l'Associazione dei Santuari Shintoisti, e grazie al supporto di numerose persone, nel 2014 riuscì finalmente a invitare la divinità giapponese nella Repubblica di San Marino.

Il San Marino Jinja è dedicato alla divinità più importante del Giappone, Amaterasu-Ōmikami (lett. “grande dea che splende nei cieli”, la divinità shintoista del sole, n.d.t.). Le fondamenta dello *honden* (l'edificio principale del santuario, all'interno del quale è riposta la reliquia della divinità, n.d.t.) sono state realizzate con il duro granito di San Marino, mentre lo *honden* è stato costruito utilizzando i vecchi legni del Grande Santuario di Ise (il santuario shintoista più sacro del Giappone, anch'esso consacrato ad Amaterasu, n.d.t.) [※ vedi nota del redattore]. Questi materiali, dopo essere stati assemblati una prima volta in Giappone, sono poi stati smontati e trasportati fino a San Marino. Gli artigiani giunti dal Giappone, specializzati nella costruzione e riparazione di santuari e templi, completarono la costruzione del San Marino Jinja in soli tre giorni: un'impresa tanto insolita da attirare la visita di svariati studenti di architettura delle

tuario shintoista」と言いますが、サンマリノ神社では「San Marino Jinja」という表記をしています。英語やイタリア語にした言葉では正しく意味が伝えきれないため、「Jinja」という日本語のままにしているのです。これまでしっかり統一されていないような様々な神道の用語に関しても、神道を学んだ学生によって公式のイタリア語訳がつけられ、サンマリノ人とイタリア人により正確な神社の知識を持ってもらおうとしています。

2025年の「サンマリノまつり」は5月24日と25日に行われます。御朱印やお守りも用意され、御祈願も行われるとのこと。「皆さん、サンマリノ神社に是非お越しください。サンマリノは治安の良い平和の国です。消費税もありませんよ！」(カデロ大使より)

あっ、そうそう、サンマリノ神社では前結婚式を執り行ってくれるそうですよ。

※サンマリノ神社は、首都サンマリノ市の北西に位置するレジニャーノ市にあります。
住所: Via Dei Dativi, 75 Podere Lesignano Serravalle (RSM)
※「SAN MARINO MATSURI 2025」の詳細は本誌1ページの広告のQRコードからどうぞ。

(編註) 伊勢神宮は20年毎に社殿が解体され、新しく建て直される。解体された古材は全国の神社に譲渡されたり、建材として再利用されたりする。



サンマリノ神社の玉串。神道の神事において神様に捧げる榊(さかき)の枝を「玉串」と言います。サンマリノ神社では境内に生えているオリーブの木を使って「玉串」としています。/ Tamagushi del San Marino Jinja. Il tamagushi è il ramo di sakaki (albero sempreverde giapponese, n.d.t.) offerto in dono alle divinità nei rituali shintoisti. Quello del San Marino Jinja viene realizzato con i rami degli ulivi che crescono nei terreni del santuario.



サンマリノ神社の絵馬。でも、この木の板が何故「絵馬」と呼ばれているのでしょうか? 古代には国家安寧などを祈願して馬を神社に献納するというのが行われていましたが、神社側ではその世話が大変であるなどの理由で徐々に簡素化され、絵に描かれた馬が奉納されるようになったのだそうです。絵馬の裏に願い事を書いて神社に納めます。/ Ema (tavoletta votiva in legno) del San Marino Jinja. In giapponese, il termine ema si scrive con i caratteri di "dipinto" e "cavallo": ma perché queste tavolette di legno si chiamano così? Nell'antichità, era

consuetudine donare un cavallo al santuario per pregare per la pace e la sicurezza del Paese. Tuttavia, sembra che questa usanza mettesse in difficoltà il santuario, che doveva poi occuparsi del cavallo; così, pian piano, questa pratica venne semplificata, arrivando all'offerta di cavalli dipinti - da cui appunto il termine ema. Ma come si usa un ema? Si scrive il proprio desiderio sul retro della tavoletta, che viene poi offerta al santuario e appesa in appositi spazi.



自黒区中町から寄贈された神輿/Il mikoshi donato dal quartiere di Nakachō, nel distretto di Meguro (Tokyo).

università italiane. Infine, il 22 giugno 2014, si svolse una solenne cerimonia di inaugurazione, alla quale presero parte anche autorità giapponesi.

San Marino Matsuri

Da allora, ogni anno nel Podere Lesignano a Serravalle di San Marino si svolge il "matsuri", festival che contribuisce a promuovere e approfondire lo scambio culturale e l'amicizia con il Giappone. In questo quadro di collaborazione, il quartiere di Naka-machi, nel distretto di Meguro a Tokyo, ha donato al San Marino Jinja un mikoshi (santuario portatile, usato per trasportare la divinità durante i matsuri, n.d.t.). Nel maggio del 2023, questo mikoshi ha fatto la sua prima apparizione sfilando per la città in occasione del San Marino Matsuri, che si è finalmente tenuto dopo quattro anni di sospensione a causa della pandemia di COVID-19, quando il mondo intero si era fermato. Lo scorso anno, nel 2024, il santuario San Marino Jinja ha celebrato il suo decimo anniversario e, per l'occasione, il festival annuale (la cerimonia religiosa più importante del santuario) si è tenuto con un programma ampliato e arricchito.

A proposito, la parola jinja viene solitamente tradotta in italiano come "tempio shintoista" o "santuario shintoista", ma il nome ufficiale del santuario di San Marino è "San Marino Jinja": poiché la sfumatura di significato del termine giapponese non può essere resa con precisione in lingue come l'italiano o l'inglese, si è deciso di mantenerlo inalterato. Inoltre, l'intera terminologia shintoista, che fino ad oggi non era mai stata standardizzata, è stata ufficialmente tradotta in italiano grazie al lavoro di uno studente che ha approfondito lo studio dello shintoismo, con l'obiettivo di offrire ai sammarinesi e agli italiani una conoscenza più accurata dei santuari.

Quest'anno, il San Marino Matsuri si terrà il 24 e il 25 maggio 2025. Durante il festival saranno disponibili anche i goshuin (timbrici calligrafici tipici di ogni santuario o tempio, che attestano la visita del fedele, n.d.t.) e gli omamori (amuleti shintoisti, n.d.t.), e si terranno preghiere e cerimonie di benedizione. Non mi resta che invitarvi con le parole dell'Ambasciatore Cadelo: "Vi aspetto tutti al San Marino Jinja! San Marino è un Paese bellissimo, sicuro e pacifico. E non si paga neanche l'IVA!".

Ah, un'ultima cosa: al santuario San Marino Jinja è anche possibile celebrare matrimoni con il rito shintoista, al cospetto della divinità giapponese.

※ Il santuario San Marino Jinja si trova a Lesignano, a nord-ovest della capitale di San Marino.
Indirizzo: Via Dei Dativi, 75 Podere Lesignano Serravalle (RSM)
※ Per maggiori informazioni sul San Marino Matsuri 2025, consultate il codice QR a pagina 1!

Tasuku Kosaka
(Traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio)

[Nota del redattore]: L'edificio principale del Grande Santuario di Ise viene demolito e ricostruito ogni 20 anni. I vecchi materiali vengono poi donati ai santuari di tutto il Giappone o riutilizzati come materiali da costruzione.

NEW PACKAGE

欧州産新こしひかり

アルプスの豊富な雪解け水が流れ込んだイタリアの肥沃な大地で選りすぐりの契約農家が丹精込めて育てたお米が今年も届きました。田んぼから精米まで日本の技術者に指導を受けた旨みあふれる極上のお米をお試しください。

JFC INTERNATIONAL (EUROPE) GROUP

<https://www.jfc.eu/>



読者からの手紙 La lettera dai lettori

親愛なる京都

親愛なる京都、あなたがあの5か月間を共に過ごしてくれたことに感謝する。あの日々の中、私自身もあなたの一部であると感じることができた。

京都に到着してすぐ、桂地区を散歩した。風のリズムに合わせてささやき、光と戯れる竹の葉に惹かれて山に登り、そこで初めてあなたに会った。上から、あなたの顔を全部見ることができたのだ。まだお互いを知らない私たちは丁寧に礼をし合った。それから何ヶ月間か、私は自転車であなただけの街路を走り回った。時に立ち止まって人々の日常を眺めるのが大好きだった。早朝に家の前の植木に丁寧に水やりをするお年寄り。それと同じぐらい丁寧に街路を掃除する商店の人。ボランティアで交通整理をする人(道を渡る人が目で合図したり微笑んだりして感謝する度に、彼らは会釈を返すのだ)や、工事現場で昼夜問わず働く人に至るまで。

忙しい日常を送る人々の間で、静かにすべてを見てきた存在がある。鴨川だ。自分の周りで京都が成長していく様子を鴨川はずっと見てきた。これまでどれほど多くの人がこの川に心を委ねてきたことだろう。私もその一人になれたことを嬉しく思う。鴨川が流れる水は私の家だった。困難にぶ

つかったときは安らぎの場所となり、一人で思いを巡らせたり、仲間(それは人だったり人じゃなかったり)と共に過ごしたりした。空を旋回しながら、ピクニック中の“不運な”人たちが目掛けて急降下する機会を狙うトンビ。その雄大な姿を初めて見たときの感動と驚きを今も覚えている。あるいはサギ。時にサギは人と友達になりたがるようだ。座っている老人の隣でじっと動かずにいる姿を見たときも衝撃だった。私の好奇心に気づいたお爺さんは、彼ら二人の友情について語ってくれた。

京都、あなたと自然との調和に私は幾度も息を飲んだ。北から南、東から西へとあなたを囲む山々も私にとっては家だった。私の日本滞在が終わろうとしていた8月、酷暑の中、ひとときの安らぎを求め、山の渓流を頻りに訪れたものだ。

出発前の8月18日、日が落ちる頃、最後にあなたをもう一度見ておきたくて私は大文字山に登った。2日前にお盆の火が灯された山だ。初めてあなたを見たあの山の後ろに太陽が沈んだ瞬間、私たちは笑顔で別れの挨拶をした。イタリアに戻ってから数か月が経つ今、これらの思い出はほとんど夢の様だ。著しく異なる二つの世界を同じ次元に位置づけるのは困難である。だからこそ、京都との出会いが私にとってこれほどまでに特別なのだろう。じゃあ、また。

Cara Kyoto

Ti scrivo, cara Kyoto, per ringraziarti di questi cinque mesi passati insieme. Mesi durante i quali, a poco a poco, mi sono sentita anche io un po' parte di te.

Pochi giorni dopo il mio arrivo, mentre girovagavo nei pressi di Katsura, risalendo per la montagna, richiamata dalle fronde del bambù che al ritmo del vento sussurrano giocando con la luce, per la prima volta ti ho vista. Vedendoti dall'alto ho potuto scorgere nella sua interezza il tuo volto e, nonostante ancora non ci si conoscesse, ci siamo scambiate un primo cordiale inchino. Nei mesi a seguire, ho percorso pedalando le tue strade innumerevoli volte. Quando non ero di fretta mi piaceva tanto fermarmi ad osservare le persone nella loro quotidianità. Dagli anziani che di prima mattina innaffiano meticolosamente le piante di fronte a casa, ai negozianti che puliscono le strade con altrettanta cura, ai volontari che gestiscono il traffico facendo un inchino a chi, passando, li ringrazia con uno sguardo o un sorriso, sino agli operai che lavorano giorno e notte nei cantieri stradali.

Tra tutta questa gente indaffarata, c'era però

イタリアの街角

初めてのコンフェッティ探し

「お母さん、赤いコンフェッティを用意しておいてね!」。ミラノの音楽院に通う我が娘が、数週間後に卒業試験を控えた頃のことでした。



イタリアの大学には卒業式がありません。教授陣に囲まれて各自が個別に受ける最終面接試験(卒論プレゼン)が、その学生の卒業式となります。試験は公開で、その場に親族、友人を招待することができます。試験が終わるとすぐに点数が言わたされるのですが、結果が発表された

時、喜びを分かち合うためにコンフェッティを配るのだそうです。

娘の場合はピアノ科の卒業試験ですから、約1時間のピアノ演奏を数人の教授陣が採点します。音楽院のホールにおけるその演奏を、両親をはじめとして誰でも聴くことができるのです。

「まあ、大学卒業時にもコンフェッティを配るのね。それは大変!」。イタリアでは、結婚式などのお祝いの席で主催者が招待客にボンボニエレ(引き出物)を配りますが、その中には必ずコンフェッティが入っています。もちろん私も何度もいただいたことがあります。ですが、自らコンフェッティを配るという経験をしたことがありませんでした。

コンフェッティは、ころんとした小石のよ

うな、愛らしい形をしています。表面は薄い砂糖でコーティングされており、たいていは白や薄いピンク、水色などの優しいパステルカラー。ですが一口噛めば、その下にはアーモンドが隠れていてかなり硬い歯応えです。

イタリア人にとっては、お祝いの場に欠かせないコンフェッティ。言葉の由来を調べてみると、「confetto」はラテン語の「confectum」から来ており、その意味は「confezionato」(パッケージにして準備した)です。コンフェッティを準備し、喜びを分かち合いたい人達に配るといふこの慣習には、長い歴史があります。古代ローマ時代には、祝賀の際に果物やナッツの蜂蜜漬けが振る舞われたそうです。そして中世ヨーロッパで砂糖が普及すると、コンフェッティは砂糖でコーティングしたものへと変化し、イタリアから世界へと伝わっていきました。

実はポルトガルを通じて15世紀には日本にも伝わり、それが「金平糖」となったのだそうです。私は金平糖は日本古来のお菓子だと信じていたのですが、そのルーツがイタリアのコンフェッティにあることに、驚きました。確かに名前が響きが似ていますよね。それにしても、漢字があまりにも上手に当てはめられていることに感心します。

コンフェッティの色には、それぞれに意味があります。初めての聖体拝領や結婚式では白、女の子が生まれた時にはピンク、男の子なら水色、銀婚式と金婚式にはそれぞれ銀と金、そして大学卒業の時は赤。砂糖の白い色から始まり、徐々に他の色が加えられていったのでしょう。食べ物としてはドギツイとも感じられる赤は、活力溢れる若者の情熱を表す色ということなのでしょうか?

Un angolo d'Italia

「何人分ぐらい必要なの?」と娘に尋ねると、「20人分くらい」との返事。コンフェッティは1人につき5粒または7粒が縁起良しとされています。となると、少なくとも100粒の赤いコンフェッティが必要ということになります。その日以来、いつでもどこでも、バスに乗っているときなどでも、お店のショーウィンドウに赤いガラスの壺が見えたりすると思わず目を凝らしたり…。赤いコンフェッティって、なかなか巡り会えなかったのですが、最後にたどり着いた1836年から続く老舗で目的を達成しました。

いまやインターネットでなんでも簡単に購入できるご時世。ですが、敢えて時間をかけてお店を巡りました。おかげで、ワクワクしながらイタリアの伝統行事に参加し、感謝の気持ちと希望を込めてアーモンドの粒を準備することができたのです。

Alla ricerca dei primi confetti

"Mamma, prepara i confetti rossi, mi raccomando!". Era il periodo in cui mia figlia, che frequentava il Conservatorio di Milano, si stava preparando per l'esame di laurea che avrebbe sostenuto da lì a poche settimane. In Italia non esistono cerimonie di laurea formali. Ogni studente sostiene un colloquio finale (discussione della tesi) in presenza dei professori, che funge da cerimonia di laurea. L'esame è pubblico e i parenti e gli amici sono invitati a parteciparvi. Al termine, viene annunciato il voto e, per tradizione, si distribuiscono confetti per festeggiare. Nel caso di mia figlia, che stava sostenendo

qualcun altro lì da molto prima di me che, silenziosamente, osservava tutto questo. Il fiume Kamo, Kyoto se l'era vista crescere intorno. E in tutti questi anni chissà quante persone si sono confidate con lui. Sono felice di essere stata tra queste. Le sue sponde erano per me casa, un luogo di conforto nei momenti difficili, dove riflettere da sola, o condividere momenti in compagnia. In compagnia di persone e non solo. Ricordo ancora il fascino e lo stupore nello scorgere per la prima volta i maestosi nibbi bruni, che vorticavano in cielo in attesa di cadere in picchiata sul picnic di qualche sfortunato. O gli aironi, che sembravano a volte cercare la compagnia nelle persone. Ricordo che un giorno, passando in bicicletta in direzione dell'università, mi colpì vedere un aironi immobile accanto ad un anziano seduto. Quest'ultimo, notando la mia curiosità, fece cenno di avvicinarmi e, chiacchierando, mi raccontò della loro amicizia. Kyoto, la tua armonia con la natura mi

lasciava ogni volta senza fiato. Anche le montagne che da nord a sud, da est a ovest ti circondano, sono state per me una casa. Negli ultimi tempi visitavo spesso i loro fiumi che, nell'estenuante calore di agosto, mi davano un attimo di sollievo. Infine, cara Kyoto, prima di andarmene ho voluto vederti un'ultima volta. Era il 18 agosto e mentre il sole calava decisi di salire sul monte Daimonji, sul quale due giorni prima avevo visto accese i fuochi dell'Obon. In quel momento, mentre il sole si eclissava dietro alle montagne dove per la prima volta ti avevo vista, ci siamo salutate sorridendo. Ora, a distanza di qualche mese dal mio ritorno in Italia, questi miei ricordi sembrano quasi appartenere a un sogno. È difficile conciliare nella stessa realtà due mondi tanto diversi. E, a pensarci bene, è forse questo il motivo per cui questo nostro incontro è stato per me tanto speciale. A presto.

Anna Zambrini



Ciao Journal in piazza

こちらは読者の掲示板です/Questo spazio è dedicato agli annunci dei lettori:

トリノ中心部の日本食惣菜食品店舗居抜き物件。 厨房設備付。固定客多。価格応相談。お問合せは下記Tel迄。
Cedesì attività di gastronomia e alimentari giapponesi con cucina attrezzata situata in centro a Torino da 14anni con clientela consolidata. Trattativa riservata. Chiamare se interessati ☎ 0114338748 mar-sab 11.30-14.30/17.30-21.00 escluso festivi

[Unisciti al nostro team per le Olimpiadi Invernali di Milano-Cortina 2026!]

Cerchiamo staff di supporto a Milano! Se sei **residente a Milano** e conosci il giapponese a livello N4 o superiore, con o senza esperienza di studio o lavoro in Giappone, questa è l'occasione giusta per te! Periodo: Febbraio 2026, lavoro full-time (7 giorni su 7) con turni anche serali. Attività: Supporto organizzativo, assistenza al team TV giapponesi e coord/interpretariato. Posizioni aperte: Coordinatore, Assistente tecnico, Runner. Compenso: Basato sull'assegnazione e l'esperienza. Candidati inviando breve presentazione e curriculum con foto a info@linkjapan.it. Scopri di più su di noi: www.linkjapan.it Non perdere questa opportunità unica! Ti aspettiamo!
【ミラノ・コルティナ2026冬季五輪での日本のTV局サポートスタッフ募集】
条件:**ミラノ在住**の日本語能力N4以上~母国語の方数名。日本での留学・勤務経験者優遇
勤務:2026年2月、週7日、夜勤あり。勤務時間・休日は柔軟に決定可
職種:コーディネーター/通訳、技術アシスタント、ランナー各種
業務:事務所での調査・組織サポート、日本のTVクルーの競技会場への同行・調整・一般通訳等
報酬:配属と経験を元に決定
応募:日・伊語で志望動機、簡単な自己紹介、写真付履歴書をinfo@linkjapan.it迄
応募期限:2025年3月
弊社詳細: <http://www.linkjapan.it>

STUDIO LINGUISTICO SOE di Masatake Soejima
www.studiolinguisticosoe.it

ビジネス文書翻訳(伊英日) / 裁判所宣誓翻訳(伊英・伊日) / 輸出入ご商談のお手伝い
Translation of Business documents between Japanese⇄Italian / Online consecutive interpretation for Import Export meetings / Japanese language lessons
イタリアの高校から外国の大学へ進学する際に必要なイタリア語の卒業証書や成績表等の宣誓翻訳証明書は私どもにお任せください。

店員募集。ホールとキッチンスタッフ募集。やる気と情熱を持って取り組める方、プロフェッショナルでダイナミックなチームに入ってください方、ご連絡お待ちしております。/
Tempurateca cerca nuovi professionisti
Cerchiamo persone volenterose per la sala e la cucina, pronte a lavorare con impegno e passione. Se vuoi entrare in un team serio e dinamico, contattaci(vedi pag.1).
info@tempurateca.com / +39 334 9939324



チャオ誌面とHPに告知掲載 /
Pubblica il tuo annuncio sulla versione cartacea e sul sito di Ciao!
1コマ25ユーロ (20字×5行、英数半角は2文字で1字) / una casella: 25euro (40 battute per 5 righe)

CiaoのFbやインスタ上での告知 / Annunci su Facebook e Instagram di Ciao: Ciaoの告知として2回掲載で25ユーロ (100字、英数半角は2文字で1字、写真1つ) / L'annuncio verrà pubblicato 2 volte sui social di Ciao: 25euro (200 battute, foto)

詳細とお申込み / Per info scrivere a ciao@ciaojournal.com

Ciao!のHPをリニューアルしました!
È online il nuovo sito di Ciao
www.ciaojournal.com

イタリアに少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご入会ください

神戸日伊協会

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE DI KOBE
日伊両国間の、民間レベルでの相互理解、友好親善を深め、あわせて会員間の親睦をはかります。

■神戸日伊協会・年会費

個人会員お一人	5,000円
*ベア会員	8,000円
法人会員一口	30,000円<いずれも税込み>

*ベア会員=ご夫婦、親子など、会報等の送付先、その他連絡先が同一の方

〒651-0096 神戸市中央区雲井通7-1-1 「ミント神戸」17階 神戸新聞文化センター (KCC内)

神戸日伊協会
TEL. 078 (265) 1100 FAX. 078 (265) 1105

CIAO! Journal年間定期購読 / CIAO! Journal Abbonamento annuale

●印刷版…22ユーロ (イタリアのご住所のみ) の「お振り込みデータ」「ご氏名」「ご住所」をciao@ciaojournal.comまでお送り下さい。
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

※PayPalでお支払いの方はwww.ciaojournal.com→「定期購読」をご覧ください。

●Abbonamento annuale CIAO! Journal in versione cartacea…22euro (l'abbonamento è rivolto esclusivamente ai residenti in Italia)
Dopo aver fatto il bonifico, invia la ricevuta del pagamento all'indirizzo ciao@ciaojournal.com

con il nome e l'indirizzo su cui desideri ricevere Ciao!Journal.
- Fai il bonifico al seguente IBAN:
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

●WEB版…無料。ご希望の方は ciao@ciaojournal.comまでお申し込みください。また、お友達にご自由に転送させていただきます。
●Versione Web di CIAO! Journal…GRATIS.
Se desideri ricevere la versione Web della rivista, scrivi all'indirizzo ciao@ciaojournal.com indicando: nome, cognome e l'indirizzo mail su cui vuoi ricevere la rivista. Ciao! Journal può essere condiviso liberamente con tutti!

↳ l'esame di laurea in pianoforte, la prova consisteva in un'esecuzione di un brano della durata di circa un'ora, valutata da diversi professori. L'esibizione, che si teneva nella sala del Conservatorio, era aperta a tutti, dai genitori a chiunque desiderasse assistervi. "Accidenti, si distribuiscono i confetti anche per la laurea universitaria! Che fatica!", mi dissi. In Italia, durante le cerimonie di nozze o altre occasioni festive, l'ospite che organizza l'evento distribuisce sempre ai partecipanti delle bomboniere, che contengono immancabilmente dei confetti. Personalmente, ne ho ricevuti molte volte, ma non avevo mai avuto l'opportunità di distribuirli io stessa.

I confetti hanno una forma adorabile, simile a piccole pietre rotonde. La superficie è ricoperta da un sottile strato di zucchero e di solito sono di colori pastello delicati, come bianco, rosa pallido o azzurro. Tuttavia, appena si morde, sotto la crosta zuccherata si nasconde una mandorla, che risulta piuttosto dura da addentare.

Per gli italiani, i confetti sono un elemento imprescindibile durante le celebrazioni. Se si esamina l'origine della parola, si scopre che "confetto" deriva dal latino "confectum", che significa "preparato" (ciò che è stato confezionato). La tradizione di preparare i confetti e distribuirli alle persone con cui si desidera condividere la gioia ha una lunga storia. Nell'antica Roma, durante le celebrazioni, venivano offerti frutti e noci immersi nel miele. Con la diffusione dello zucchero in Europa durante il Medioevo, i confetti si trasformarono in dolci ricoperti di zucchero e questa tradizione si diffuse dall'Italia al resto del mondo.

In realtà, attraverso il Portogallo, i confetti arrivarono anche in Giappone nel XV secolo, trasformandosi poi nei "konpeitō" (金平糖).



Dolci giapponesi, konpeitō
© Midori / Creative Commons



Fino ad allora, credevo che i konpeitō fossero una caramella tipica giapponese, e sono rimasta sorpresa quando ho scoperto che le loro radici derivano dai confetti italiani. Effettivamente, i nomi si somigliano. Inoltre,

sono rimasta colpita dalla perfezione con cui i kanji sono stati adattati alla parola.

I confetti hanno un significato legato al loro colore. Per la prima comunione o il matrimonio si usano i confetti bianchi, per la nascita di una bambina si usano quelli rosa, per un bambino

azzurri, per il 25° anniversario di matrimonio si usano quelli argentati, per il 50° quelli dorati, e per la laurea si utilizzano i confetti rossi. Il bianco, che rappresenta lo zucchero, è il colore di partenza, seguito gradualmente da altri colori.

Il rosso, che potrebbe sembrare eccessivo come colore per un dolce, rappresenta forse la passione e l'energia dei giovani.

"Per quante persone servono?", chiesi a mia

figlia. La sua risposta fu: "Per circa 20 persone". Si dice che per ogni persona siano necessari 5 o 7 confetti, in quanto considerati portafortuna. Quindi, servivano almeno 100 confetti rossi. Da quel giorno, ovunque andassi, anche mentre prendevo l'autobus, non potevo fare a meno di guardare con attenzione ogni vetrina dei negozi che esponeva una brocca di vetro rossa... I confetti rossi erano davvero difficili da reperire, ma alla fine sono riuscita a trovarli in una storica pasticceria che esiste dal 1836.

Oggi, ormai con internet, possiamo davvero trovare di tutto, ma ho comunque deciso di impiegare del tempo per visitare i negozi. In questo modo, ho preso parte con molto entusiasmo a una tradizione italiana, preparando i confetti con gratitudine e speranza.

Noriko Hirosaki

Illustrazione: Saya Hirosaki

Traduzione in italiano: Christian Lelli

RISTORANTE HAZAMA
Via Savona 41, 20144 Milano
www.ristorantehazama.com

イタリアでしか味わうことのできない日本料理。
季節のイタリア食材をお楽しみください。

Dal 2003 simbolo della
VERA CUCINA GIAPPONESE

ASSOCIAZIONE ITALIANA
RISTORATORI GIAPPONESI

AIRG

SHIRAZA POPORINA 赤松園 大阪 Osaka Japanese restaurant since 1999 HIGUMA

zero KOKORO 三つ心 FINGERS

www.ristoratorigiapponesi.it - info@ristoratorigiapponesi.it

E' arrivata la Primavera !!

Prima o dopo il tuo viaggio passa o risparmia sul nostro sito

Visitate il sito rinnovato e scontato anche per ordini on-line (-10%)

雛祭り

TANABATA 七夕書店

Via Adige, 7 - 20135 Milano - tel.02-5463980
info@tanabata.it - www.tanabata.it